１１　情報

学校番号	１０７

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新　社会と情報　新訂版　（実教出版）						
副教材等	３０時間でマスター Office 2016　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、アプリケーションの使い方とネットワークなどの仕組みについて学びましょう
・アプリケーションの使い方については、ただ使えるだけでなく。ツールとして使えるようになりましょう。そして、それを使って表現したり、伝えたりできるようになりましょう。
・ネットワークの仕組みを知ることで、日常使っている環境を理解しよう。
・情報の発信の手段として理解するだけでなく、コミュニケーションの手段として良い点、悪い点を知りましょう。

２　学習の到達目標

・アプリケーションを使って、表現したり、伝えたりできる。
・日常生活の中で、インターネットなどを活用して情報の収集ができる。
・情報及び情報技術の基本的な知識を身に付け、社会における意義や役割を理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味しその価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・様々な事象を情報とその結びつきの観点からとらえる力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切にかつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力 ・表現したいことを今までの知識を使って表現する力	・情報と情報社会を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報及び情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法、制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品 発表 相互評価	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品 発表 相互評価	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品 発表 相互評価	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品 発表 相互評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	オリエンテーション							
	情報社会と私たち	○情報や知識について理解する ・情報化の光と影を考える ○個人情報について理解し、漏洩防止対策を知る ・情報モラルとマナーについて理解する ○情報の特徴について知る ・情報の信憑性と信頼性について体験する	○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○	a:個人情報の保護、情報、メディアなどに関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:メディアリテラシーを身に付け、情報を取り扱う判断力と表現力がある。 c:個人情報を管理できる。情報の信憑性や信頼性を考えながら情報を利用できる。 d:情報化の良し悪しを理解している。情報を扱う責任とモラルを持っている。	授業観察 プリント
	情報機器とディジタル表現	○アナログとディジタルの違いが分かる ・ディジタル化のメリットを知る ○2 進数・10 進数・16 進数で表したり、変換ができる ・ディジタル化の各段階が理解できる ・単位を理解する	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:情報量について関心を持っている。数値、文字などの情報のディジタル化に関心がある。 b:情報量を適切な単位で表せる。進法の成り立ちを考えられる。 c:進法の相互変換ができる。データ量の基本的な計算ができる。 d:アナログとディジタルの違いが分かる。圧縮の仕組みがわかる。音声などのデータ量の計算ができる。	授業観察 プリント
	表現と伝達	○Word の使い方を理解し、使える ・情報伝達する際の注意点について考える ・ポスター作りを通じて、内容以外にも図形、画像などを効果的に使う工夫をする ・他者の作品を正しく評価する	○	○	○	○	a：わかりやすく情報伝達をしようとしている。 b:目的を明確にして、表現やデザインの工夫を行う。 c:画像や図形を効果的に取り入れることができる。 d:情報を伝達するときの注意点を理解している。	授業観察 課題作品 相互評価
2	**コミュニケーションとネットワーク**	○メディアの歴史を理解する ・コミニュケーションツールを知り、注意点を考える。使用時のルールとマナーを理解する ○ネットワークの仕組みを理解する	○ ○	○ ○	○ 	○ ○	a:メディアの発達の歴史に興味関心を持ったり、ネットワークの特性・仕様に関心を持つ。 b:技術の進歩によるメリット、デメリットをしり、判断できる。目的に合わせて、使うツールを判断できる。 c:メールの宛先の使い分けや、ツールを適切に使える。 d:メディアの発達に関する知識がある。インターネットの仕組みについて理解している。通信方式の違いについて知っている。	授業観察 プリント レポート 課題作品

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2	法とセキュリティ	○知的財産権について理解する ・いろいろな法律を知り、権利について判断できる ・権利を侵害せずに、著作物を利用できる	○	○		○	a:知的財産権を学び、著作権を侵害せずに著作物を利用できる。情報セキュリティ技術を使って、犯罪に遭わない工夫ができる。 b:知的財産権の権利の違いが判断できる。著作権の例外規定を判断できる。 c:脅威に対して、セキュリティ対策ができる。 d:知的財産権の体系を理解している。インターネットに関する法律を知っている。セキュリティ対策を知っている。	授業 観察 プリント レポート 発表
		○セキュリティを侵される現状を知る ・情報の発信の仕方で起きるいろいろな危険性を知る ・セキュリティ対策の必要性を知り、対策できる	○		○	○		
	表現と伝達	○Excel の使い方が分かり、使える ・データ入力して、表を作り、計算式や罫線を使える ・グラフが作れる ・与えられた条件で、表を作成できる	○	○	○	○	a:表の作成に積極的に取り組んでいる。演習課題に取り組んでいる。 b:表から必要な計算式、関数を考えられる。適切な表示形式を選べる。 c:適切な表の形を考え、表を作成できる。表示の仕方などに工夫できる。 d:条件に合った計算式、関数を選択して利用できる知識がある。	授業 観察 課題 作品
		○PowerPoint の使い方が分かり、使える ・図形や画像、アニュメーションなどを効果的に使える ・決められた時間内で、テーマに沿った動画(mp4)を作る	○	○	○	○	a:プレゼンテーションツールを使えるように積極的に取り組む。 b:構成やアニメーションなどを適切なものを選べる。 c:画像、音声、アニメーションなど、多様な表現めぢあうぉ利用できる。 d:プレゼンテーション制作の手順がわかっている。効果を適切に使える。	授業 観察 課題 作品 相互 評価
3	情報社会と 問題解決	○Webサイトの作成の仕方を理解し、作成できる ・CSSの使い方を知り、使える ・指示されたことを自分の知ってる知識を使って、タグを使って表現できる ・あたえられた課題について、インターネットなどで検索し、考えて、まとめて校内の自分のWebサイトで情報発信できる ・他者のWebサイトを見て、正しく評価できる	○	○	○	○	a:ＨＴＭＬの作成に興味関心を持つ。他者のＷｅｂサイトを適切に評価できる。 b:テーマに沿ったコンテンツの作成ができる。受信者に情報が伝わりやすいように文字の大きさ、デザイン、レイアウトなどを適切に使える。他者の作品を適切に評価、コメントできる。 c:適切にハイパーリンク、タグを使っての操作ができる。ＣＳＳを利用できる。 d:Ｗｅｂページの作成手順が理解できている。Ｗｅｂページを効果的にするハイパーリンク、タグなどを理解している。	授業 観察 課題 作品 相互 評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解